

新春

文芸

今年の初夢

土浦市で世界遺産を目指そう



土浦市立博物館長
上高津貝塚ふるさと歴史の広場館長
茨城大学名誉教授

茂木雅博

博物館では昨年度特別展「暮らしをささえる女性たち」を開催した際、1260年ぶりに調布（奈良・法隆寺所蔵）を里帰りさせ、7000人を超える来館者に観賞して頂きました。調布の里帰りは私が館長をお引き受けした時の約束でした。博物館に足を運んでくださった市民の皆様から御礼申し上げます。

私の今年の初夢は土浦市を中心にした「仮称」霞ヶ浦と筑波山を背景とした常陸国風土記の世界」が世界遺産に登録された夢です。なぜこのような夢を抱いたかと申しますと、私は霞ヶ浦の対岸麻生

町（現行方市）の生まれで、高校まで麻生で育ちました。そのころ何かあると必ず船で土浦にやってきました。麻生から見れば土浦は都会で、駅前にはヒマラヤ杉と噴水があり、亀城公園までは商店が軒を並べて、大変な賑わいでした。

しかし5年前に館長として赴任して見ると、シャッターの開かない店が多く往時の面影が見られませんでした。以来、自分がどんな知恵を出せばこの街の活性化が成るかを思考してきました。筑波山と霞ヶ浦の豊かな自然環境はかけがえのない、構成資産になるのではないか。しかも古代に残され



天王崎から見た霞ヶ浦と筑波山



た「常陸国風土記」の世界を売り
にすれば、数年の間に暫定登録に
こぎつけられるのでないか。更に
霞ヶ浦沿岸には構成資産となる原
始・古代の遺跡が無数に存在しま
す。土浦市上高津貝塚、美浦村陸
平貝塚、稲敷市広畑貝塚、香取市
阿玉台貝塚、同良文貝塚、成田市
荒海貝塚などの日本を代表する貝
塚群の国史跡があり、石岡市舟塚
山古墳、風土記時代の筑波郡衙跡、
香取神宮の海獣葡萄鏡、鹿島神宮
の直刀などです。



日本人がはじめて発掘した『陸平貝塚』

世界遺産の構成資産は国宝およ
び国指定史跡が原則ですので、こ
の運動の間に全国的に知名度の高

い稲敷市浮島貝塚、同椎塚貝塚、
同福田貝塚、潮来市狭間貝塚、行
方市大宮台貝塚、同於下貝塚、同
若海貝塚、同鬼越貝塚などが加え
られる可能性があります。

また、霞ヶ浦沿岸は水郷・筑波
国定公園でもあり、霞ヶ浦沿岸に
は長距離のサイクリングロードも
既に整備されています。これらも
構成資産としては大変重要な要素
であり、更に霞ヶ浦の遊覧船ホワ
イトアイリス号とジェットホイ
つくば号も湖面クルーズの重要な
要素となります。その為には、霞ヶ
浦の麻生・玉造・浮島・高浜・佐
原・鹿島などに棧橋施設の再整備
が必要になるでしょう。

更に重要な点は茨城空港の有効
利用です。世界各国からの交通ア
クセスを活かして観光客に利用し
ていただくことも空港維持にとつ
て極めて大きな要素となるでしょ
う。

この夢は土浦市を中心につくば
市、石岡市、小美玉市、かすみが
うら市、阿見町、美浦村、稲敷市、
行方市、潮来市、鹿嶋市、千葉県
香取市、同成田市などのいわゆる
古鬼怒湾一帯の広域にわたる範囲
の構成資産から成立するもので近
隣市町村の連携が必要です。

もし、この夢がかなうならば土

浦市の活性化は勿論のこと、霞ヶ
浦沿岸地域の活性化もかなうに違
いなく思っております。



遊覧船『ホワイトアイリス号』

※構成資産とは、世界文化遺産と
なりうる対象の「顕著な普遍的
価値」を具体的に証明するもの
として選ばれた資産のこと。実
際に構成資産とするためには、
対象との関連性の証明だけでなく、
国から重要文化財や天然記
念物、特別名勝などに指定され
る必要があります。

※古鬼怒湾とは、縄文時代、関東
平野の銚子方面から利根川低地
沿いに広がっていた海のことです。



遊覧船から望む土浦市街

新春文芸

新春に詠む短歌

採りたての水菜に纏わるはこべらを七草粥にと夕べ取りおく

収穫した水菜に、一緒に育ってきたはこべが絡まっている。
七草粥に入れようと思い、選り分けて洗い、明日の朝に備えた。

相川 盈子

初詣で山門くぐる人の波みな晴れやかなる面持ちをして

大晦日の気忙しさから解放されて清々しい元日の朝、誰もが今年こそ...と願いを込めて参拝するのであろう。

井坂 久子

地震揺れし郷は変わらず竜ヶ峰宝筐小野の峰新春に聳つ

未曾有の震害にも故郷の山々は集落を守ってくれ、他よりも被害は少なかった様です。改めて新春に感謝し復興を祈ります。

荒井 洋子

筑波嶺のいずこよりなる梵鐘の青き麦の穂たたせて渡る

筑波山の麓にひろがる麦畑。穂先が一直線に並ぶのが心地よい。どこからか聞いてくる梵鐘。今年もいい年になりそうな。

海老沢幸子

晴れ着着て石亀またぐ孫娘はしやぐ姿に神にか笑い

孫娘が両方の爺婆と両親、その他の人々を引き連れて七五三参り。秋の日差しに晴れ着と白足袋が映え、幸せを感じた。

秋谷 英雄

西浦に昇る朝日の煌めきて一天四海の平和を祈る

霞ヶ浦の湖畔に育ち、輝く湖面を見ておりました。嘗て爆弾の跡が数多ありましたが、今は蓮が続く。世界中が平和でありますよう。

塚原 洋子

庭先の小枝にみかん挿し置けば目白は絶えず日がなきえざる

桜の名所、竜ヶ峰の我家には餌をもとめ来る小鳥が集まる。みかんの黄と目白の羽根の翠のグラデーションはわが宝の宝です。

和気 明美

酒好きもおると聞きたり祖先に たつぷり供えぬ正月の酒

顔を知らぬ先祖には、大酒飲みの人もいたとか。そんな話を思いつつお正月には盃になみなみと注いだ酒を供える。

平澤 良子

わが打ちし不揃いの蕎麦に満ち足りて常の心に年越さむとす

三回ほどそば打ち講習会に参加しましたがなかなかうまくできません。それにしても「常陸秋そば」はとても美味しいですね。

市島 紀郎

ささめ雪はつ雪こな雪ばたん雪 紅き椿に仄と降る雪

雪にまつわる美しい言葉は他にもいろいろある。雪国では雪の被害も少なくないが、紅い椿にうつすら降り積る雪は風情がある。

井上 寛江

強ばりし頬に手を当て温めつ 筑波山頂に初日拝む

人生終の日までを、豊饒とした生でありたい。そんな願いが筑波登山となった。今年も可能な限り登山を続けたい。

松崎 國男

うち晴るる西浦湖畔に白鳥も 鴨も憩ひて春を待ちをり

霞ヶ浦は一定期間飛来する野鳥の宝庫と呼ばれている。多種の水鳥が生息し、湿生草原が分布する西浦の冬景色は趣深い。

福原 安栄

町中にひびき渡りしカリヨンの「ゆうやけこやけ」こころ急げり

五時になると、教会で撞く鐘のように「ゆうやけこやけ」は町中にひびき渡る。いそいそと家路に向かう人の心を安らかにして。

井上 秀子

初春の黎明の霞ヶ浦に白鳥は波煌めかせ羽搏き交わす

誇れるわが郷土の霞ヶ浦へ、遙かシベリアより海を越えて白鳥が飛来する。夜明けと共に白鳥は一斉に羽搏いて挨拶を交わす。

櫻井 雅江

高山の奥に入り来る人もなし 木通を凝視めわれは居たりき

秋もたけなわの高山に入ったのですが誰もいません。震災以来の風評のせいかと思う。変わらない自然の営みに感銘を受けます。

柳田 覚

あけ初めし東の空に煌々と瞬く明星を標と見上ぐ

冴え渡るあかつきの東天に、輝く「明けの明星（金星）を見上げていると、道標のように思えて心に沁みてきます。

大越 里子

新春に詠む俳句

頃合に人の出てくる初参り

家族全員揃うまでに時間がかかる。お父さんは屠蘇機嫌。子供はぼち袋の収納。お母さんはしんがりで参加。お隣も同じ雰囲気。

一本の大樹の眠り冬ど真ん中

葉を落とし素っ裸の大樹と正面から向き合う。耐えることや、希望を持つ喜びが無言の中に伝わって来る。そして今年も頑張れよと。

譲れない一枚も有り恋歌留多

中高生の頃、正月の百人一首。私はいつもお気に入りの札の位置を確かめる。誰にも取らせまいとしている自分がそこに居た。

初山河水郷に住み三十年

筑波山を仰ぐ土浦に三十余年、第二の故郷にすっかりなれた。今年もまた紫峰を眺めながら暮らしていくことであろう。

初泳ぎ八十路の人と手をつなぎ

水に浮き、水をかき、進む楽しさに魅せられて十年余。今年も元気な八十才を過ぎた方を、見習っていききたいと思う。

淑氣満つ杜は要の石を抱き

鹿島神宮の杜深く、四角に注連縄が張られ一部が地表に出ている要石は神秘的。地震を鎮めるといふ謂れに詣でる人も多い。

弾き初めのピアノに母子声ひびき

新年のゆったりとした時間、子供たちの弾くピアノを聴いている。普段は忙しい母も加わり素敵なメロディーが流れる。

行商の言葉失ふ福寿草

日を浴びて黄金に輝く福寿草の美しさ。行商人と共に息を凝らして見つめるばかりです。平穏な一年を願いつつ。

大久保秀夫

狩谷 諭

加藤 節子

関沢 美江

澤辺 榮子

古橋 初子

沼尻 芳子

根本 晴市

新春に詠む川柳

一声で笑顔とわかる初電話

新年の祝い事の席に初電話が。笑顔そのもののような声が響いてくる。新年を迎えた喜び溢れた幸せを載せ。

知らん顔してた日の出に今朝は礼

大昔から太陽は万物を育む神のような存在。その初日の出に一年の幸せを願って手を合わせる。普段とは違うお日様に襟を正す。

笑い皺増えてめでたい初鏡

新春を迎え、女性の身嗜みと鏡に向き合う。年相応に増えた皺は幸せな笑い皺です。新年おめでとう。

百八ツ終えぬうちからもうお屠蘇

酒呑みは仕方のないもので、屠蘇の仕度ができていると見るや、除夜の鐘の音を肴に、もう始めてしまふ。

万人に夢を与える初日の出

初日の出は、宗教・人類に隔てなく等しく笑顔を見せてくれます。私たちもこれに応えたいものです。

年始には笑い袋を一つ持ち

世の中暗いニュースばかりです。せめて正月ぐらいいは笑顔で過してもらいたく笑い袋を持って出掛けることにした。

重箱の晴れの舞台のお正月

普段は奥にしまひ込まれている重箱、お椀などの漆器類それを取り出して使いこなすことは主婦にとつてうれしいことです。

梯子乗り歓声あびて凜と立つ

新春の風物詩出初式の梯子乗りの、凜凜しく格好いい演技に気合が入る。低迷の続く世の中、せめてポジティブに過こしたい。

加藤 光山

富永 柳道

矢野 光子

大井つかさ

中島みさお

太田 鳴子

兵藤猫目石

石引たか女